

# 最近のSNS型投資詐欺の特徴について(令和7年11月末時点)

「バナー等広告」を入口とした被害が、当初接触手段の中で最多(3,202件)、全体(8,217件)の39.0%を占める

- 被害者の年齢層 「50代」「60代」で54.2%(1,734件)
- 当初接触ツール 「YouTube」が最多(869件)
- 詐称身分(職業) 「投資家」が最多(1,221件)
- 名目 「株投資」が最多(2,290件)

## 著名人の画像や動画を無断で使用したバナー等広告



【提供元:本田健氏】

【提供元:馬渕磨理子氏】

【提供元:桐谷広人氏】

## バナー等広告からLINEの「投資グループ」に誘導される流れ



(画像は実際のなりすまし広告)

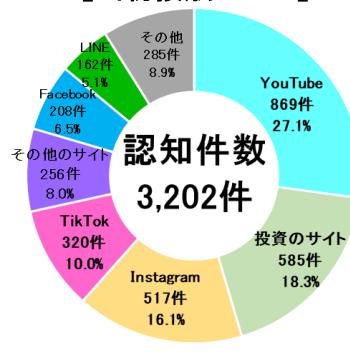
(画像は実例を元にしたイメージ)

投資グループ

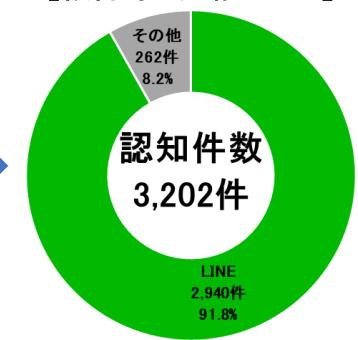
(画像は実例を元にしたイメージ)

「バナー等広告」で接触後にLINEに誘導される割合が91.8%

### 【当初接觸ツール】



### 【被害時の連絡ツール】



誘導

→ LINEの友だち追加は慎重に行う必要がある

## だまされないための対策

LINEの公式アカウントのマークについては認証済と未認証が存在  
[図]公式アカウントのマーク

公式アカウントの種類	バッジの色	概要
プレミアムアカウント	緑色	認証済アカウントの中でも特別な審査を通過したアカウント
認証済アカウント	青色	公式LINEの所定の審査を通過したアカウント
未認証アカウント	灰色	個人・法人問わず誰でも取得できるアカウント

○ 犯人は投資詐欺で未認証アカウントを悪用する傾向がある

➤ 簡単に一斉送信や自動応答ができる機能を悪用している



著名人を名乗っているのに未認証アカウントを使用している場合  
→ 詐欺アカウントに対する注意が特に必要

SNS型ロマンス詐欺においても、恋愛感情や親近感を抱かせてから言葉巧みに投資へ誘導し、暗号資産投資等の名目で金銭をだまし取る手口が多いことから注意が必要